

保証書

形名	乾湿両用バキュームクリーナーヴィットリオ Vittorio ZV-04-WD		お買い上げ日	保証期間
			年 月 日	1年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話	()		
販売店	住所 店名	☎ ()		

- 1 保証期間内に、取扱説明書・本体貼り付けラベル等の注意書に従った使用状況で故障した場合には無料修理をさせていただきます。

無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と保証書をご持参し、提示いただき、お申しつけください。
- 2 ご転居、贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合は蔵王産業株式会社ヴィットリオ係 (0120-035-303) までお問い合わせください。
- 3 保証期間内でも次の場合は原則として有料とさせていただきます。

(1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。

(2) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送による故障または損傷。

(3) 定格外の仕様電源(電圧、周波数)などによる故障または損傷。

(4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。

(5) 業務用及びそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。

(6) 本書のご提示がない場合。

(7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名のない場合。

販売店名を証する物(レシートなど)の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 4 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存してください。
- 5 保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

乾湿両用バキュームクリーナー ヴィットリオ

Vittorio ZV-04-WD
家庭用

取扱説明書



この度は乾湿両用バキュームクリーナーをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。なお、本製品は家庭用です。業務用としてご使用しないでください。

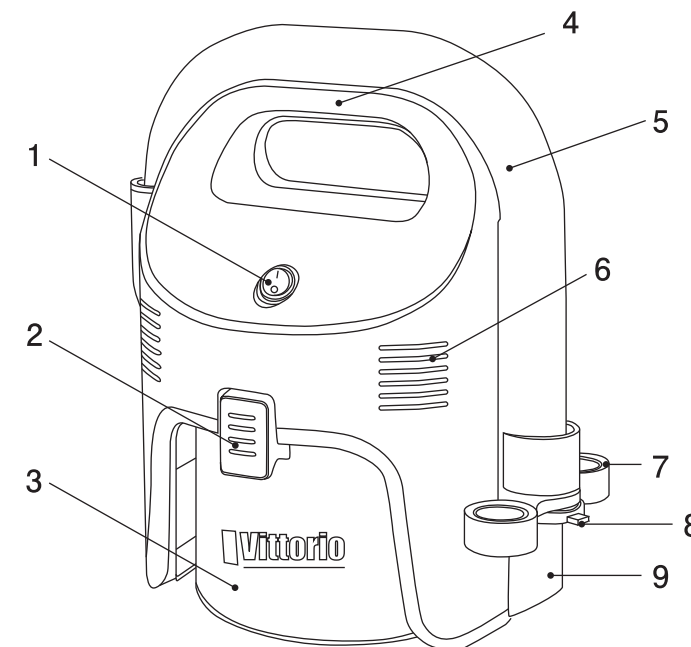
※本書の画像やイラストはイメージを表現したもので、実機とは異なる場合があります。
※性能向上、改善のために、操作方法や仕様などの記載事項が予告なしに一部変更になることがありますので、ご了承ください。

目次

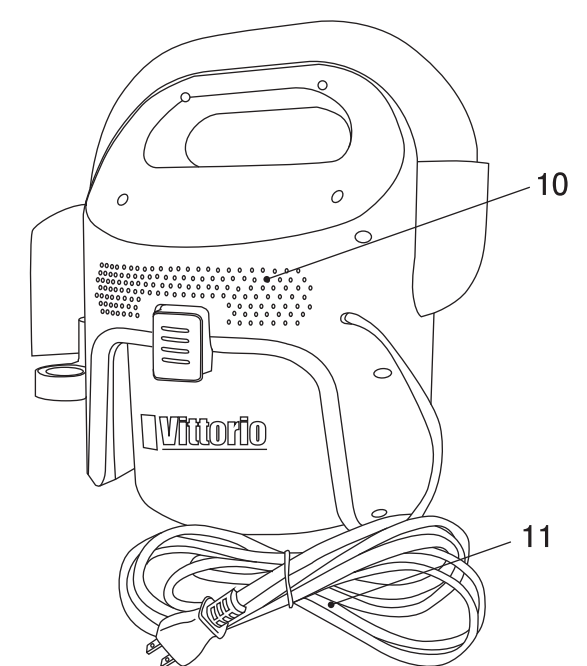
1. 各部の名称	P2
2. 仕様	P3
3. 安全にお使いいただくために	P4～8
4. 各部の説明	P9
5. 乾式・ドライバキュームの使い方	P12
6. 湿式・ウエットバキュームの使い方	P13～14
7. 作業の中断	P14
8. 運転の終了と保管	P14
9. 日常の点検	P15
10. 故障かなと思ったら	P15

1.各部の名称

機器正面図

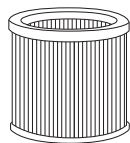
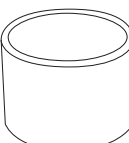
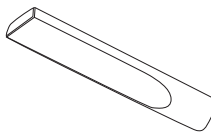
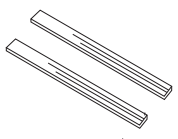
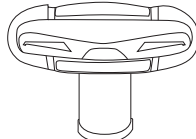


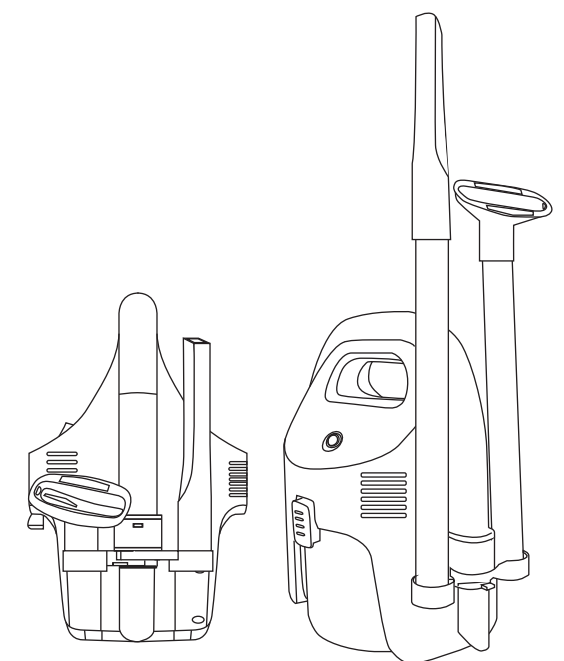
機器背面図



- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|----------|
| 1 電源スイッチ | 2 ラッチ | 3 回収タンク | 4 ハンドル |
| 5 フレキシブルホース | 6 モーター排熱口 | 7 アクセサリー収容口 | |
| 8 ロックキャッチ | 9 吸込み口 | 10 排気口 | 11 電源コード |

標準付属品

	
フィルター ×1	スポンジフィルター ×1
	
隙間ノズル ×1	延長パイプ ×2
	
ワイドノズル ×1	



収納例

※開梱時、付属品が上図と同じ数量あることを確認してください。

2.仕様

型式	ZV-04-WD
電源	AC100V 50/60 Hz
定格電流値	5. 5A
定格消費電力	500W
吸込仕事率	65W
真空圧	11. 0kPa
風量	1. 0 m ³ /min
集塵容量	約3. 0L
吸水容量	約1. 5L
本体寸法	約H310×W330×L230mm
本体質量	約2. 5kg
ホース長	約0. 5 ～ 1. 0m
電源コード長	約3. 0m
騒音値	73dB
使用場所	屋内用
絶縁方式	二重絶縁

※改良のため、使用及び形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

3.安全にお使いいただくために

■安全確保のために

- 火災・感電・ケガなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にお使いいただくために」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- 取扱説明書をお読みにになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示・注意表示について

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

：この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

：この表示欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注意

この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について

- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。



：この絵表示は、してはいけない禁止内容です。
行為の内容によって文字や図記号と組み合わせて表示しています。



：この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。



：この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
行為の内容によって文字や図記号と組み合わせて表示しています。



警告



作業場はいつもきれいに保ってください。

- 作業場が散らかっている場合は、きれいにしてから本機を使用してください。



禁止

子供を近づけないでください。

- 作業員以外、本体やコードに触れさせないでください。
- 作業員以外、作業場へ近づけないでください。



水ぬれ禁止

作業場の周囲状況も考慮してください。

- 本体は、雨中で使用しないでください。
また、濡れた手や身体で本機の操作や電源への接続は行わないでください。



禁止

感電や発煙の可能性あります。

- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。



禁止

騒音防止規制について

- 騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規則があります。
ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。



禁止

本機に水や油がかからないようにしてください。



禁止

使用電源は100V単相、50Hzまたは60Hzです。それ以外の電源で 使用しないでください。



禁止

定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。 他の機器と同時に使用するとブレーカーが働く場合があります。



感電注意

感電に注意してください。

- 本機は二重絶縁になっており漏電に対しては強化されておりますが、万が一の感電防止のために漏電遮断機の設置をお勧めします。



禁止

コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って本体を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角の当たったところに近づけないでください。
- コードを伸ばして使用してください。



屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、キャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 屋外電流許容量20A以上のものをご使用ください。



不用意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。



禁止

きちんとした服装で作業してください。また、作業時は保護メガネを 着用してください。

- ケガの原因となります。



油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 本機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して慎重に作業してください。
- バキューム以外の用途での使用はしないでください。
- 疲れている場合、アルコールなどを飲んだ場合は使用しないでください。



禁止

無理な姿勢で作業しないでください。

- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。



使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかるところに保管してください。



次の場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- 使用しない、または修理する場合。
- 付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。



点検・確認



よく読む



損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての個所に異常がないか確認してください。
- 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 電源スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。



よく読む



点検・確認

本機は、注意深く手入れをしてください。

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ってください。



禁止

正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- 取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外の物を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。



分解禁止

本機の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しただけでなく事故やケガの原因となります。



以下のものは絶対に吸込まないでください。

- アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛などの爆発性粉塵。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性の物質や油、薬品などの化学物質。
- たき火の残り火、タバコの吸い殻などの高温のものや、高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生する火花を含む粉。
- 薬液、洗剤、熱湯など発泡性の液体。
- カミソリの刃、釘、ガラス、針など鋭利なもの。



フィルタは、用途に合わせて正しく取り付けてご使用ください。

- フィルタを取り外した状態で使用しないでください。



吸込み口、排気口、モーター排熱口をふさいだ状態で使用しないでください。

- 感電や故障の原因となります。



本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。

- モーターの温度が加熱し、部品の熱変形やモーター焼損などの故障の原因となります。



電源を入れたまま放置しないでください。

- ケガ、事故の原因になります。

⚠ 警告



●延長コードは損傷のないものを用意してください。

コードの太さ	コードの最大長さ
2.0mm ²	10m
3.5mm ²	15m

⚠ 注意



付属品は、取扱説明書にそって確実に取付けてください。

- 使用中、運搬中に外れたりしてケガの原因になります。

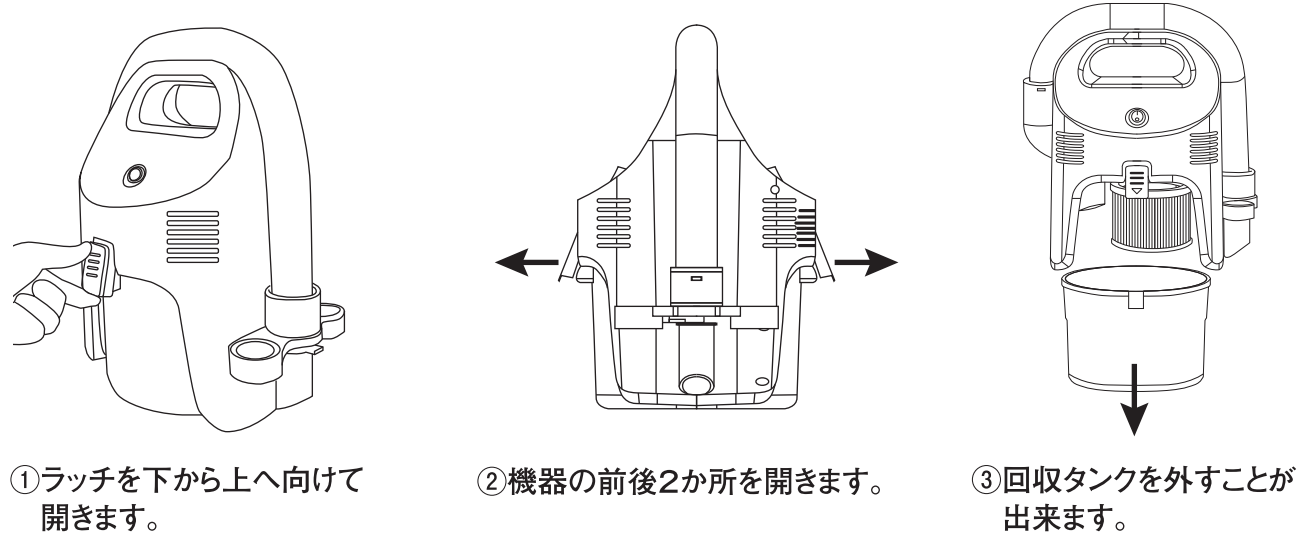


機体を持ち運ぶときはハンドルをしっかりと持って運んでください。

- 落下などによるケガの原因となります。

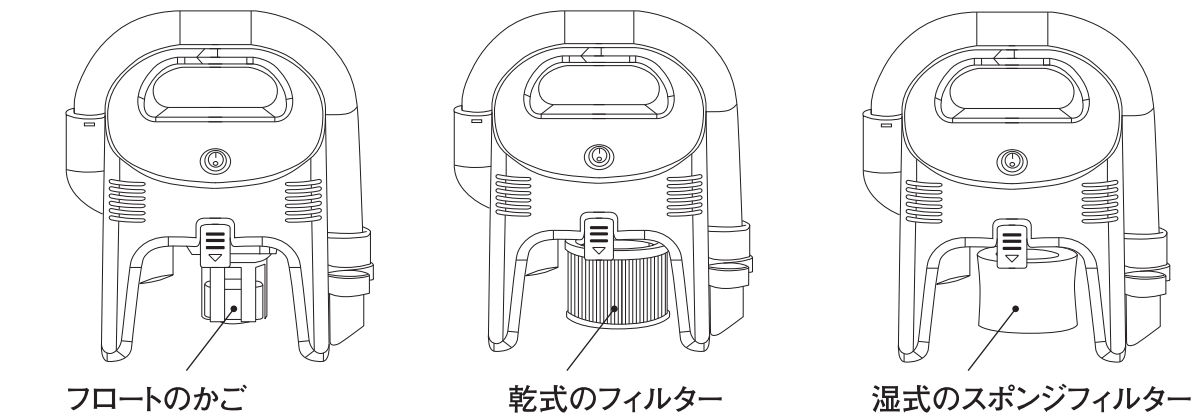
4. 各部の説明

1. 回収タンクの取り外し

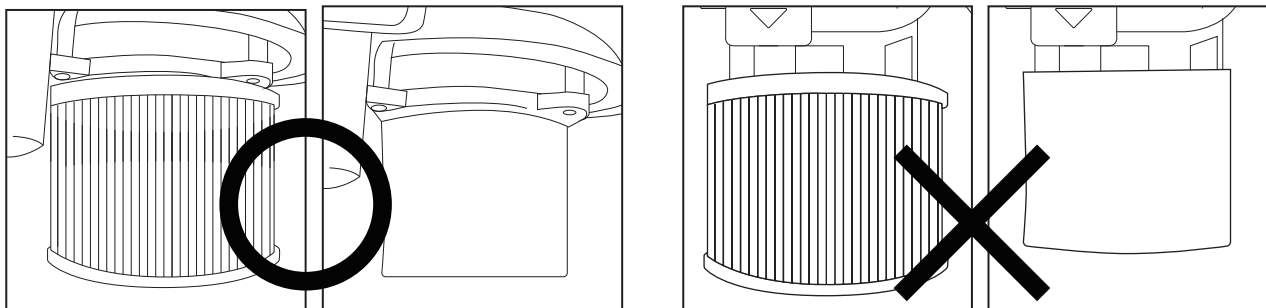


※回収タンク内にある付属品を取り出してください。 スポンジフィルター ×1個

2. フィルターの取り付け

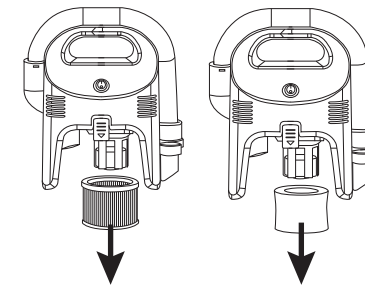


- ①回収タンクを外しフロートのかごが見える状態にします。(ご購入時には乾式のフィルターがついています。)
- ②乾式のフィルター、湿式のスポンジフィルターを作業に合わせて選びます。
- ③乾式のフィルター、湿式のスポンジフィルター共に、フロートのかごの部分が見えなくなるように差し込みます。



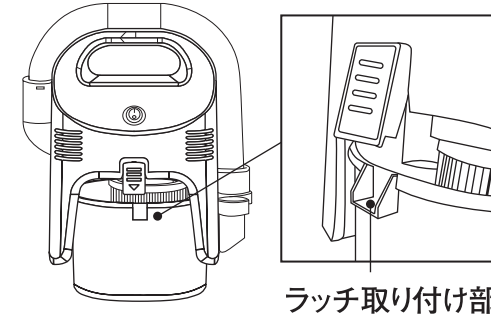
フィルターは、フロートのかごの部分が見えなくなるまで確実に差し込んでください。隙間があると、異物を吸い込み故障の原因になります。取り付けの際に、フィルターを破らないように気を付けてください。

3. フィルターの取り外し

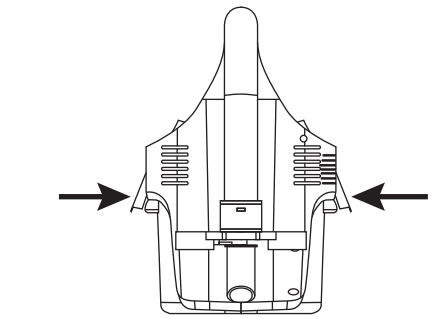


フィルターは引き抜いて取り外してください。破らないように気を付けてください。

4. 回収タンクの取り付け

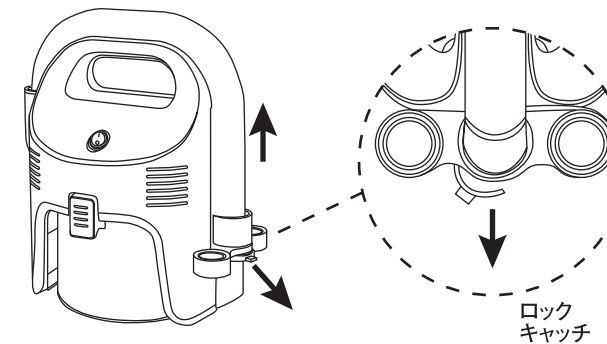


- ①回収タンクのラッチ取り付け部分とラッチの位置を合わせ回収タンクと本体を設置します。



- ②機器の前後2か所のラッチをカチッと音がするように閉じます。

5. フレキシブルホースの外し方・取り付け方

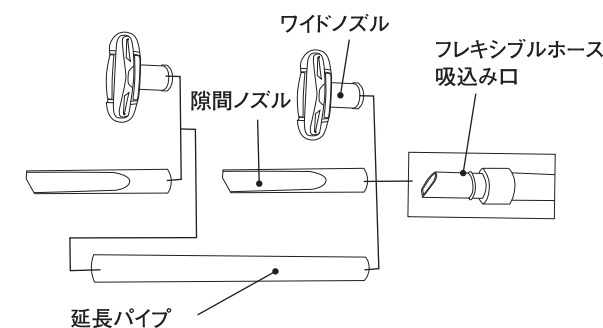


左図の様に、ロックキャッチを開きフレキシブルホースを上引き抜いてください。フレキシブルホースは、約 0.5 ～ 1.0M 伸縮します。ホースの根本（吸込み口の反対側）は本体に固定されています。外れません。収納時は、フレキシブルホースをアクセサリ収納口（3つ穴の真ん中）に差し込みロックキャッチを閉じてください。



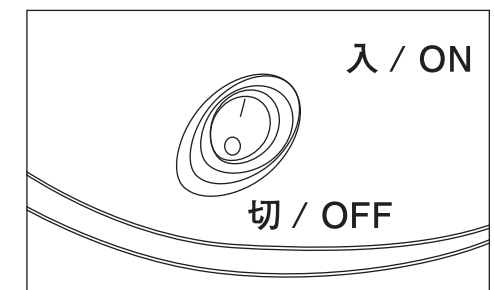
フレキシブルホースは伸縮しますが、無理に引き延ばしたり、ホースを持って本体を運んだりしないでください。フレキシブルホースは本体に固定されています。無理に外さないでください。

6. 延長パイプ・ノズルの取り付け方



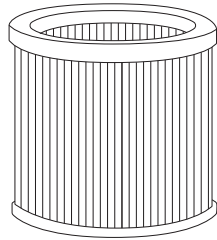
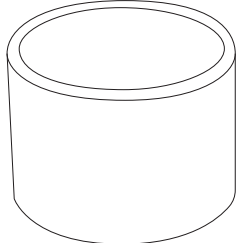
フレキシブルホース吸込み口に用途に合ったノズルや延長パイプを差し込んで取り付けてください。

7. 電源スイッチの説明



I側に押すとON/入です。
O側に押すとOFF/切です。

7. 推奨するフィルターの選び方

推奨するフィルター	吸引物の状態	注意事項
乾式のフィルター 	・ 乾いたゴミ	フィルターが、乾燥していることを確認してからご利用ください。
	・ 湿ったゴミ (液体が滴らない程度のゴミや濡れた落ち葉など)	フィルターが詰まりやすくなります、こまめにフィルターを清掃してください。使用後はよく清掃し完全乾燥させてください。
湿式のフィルター 	・ 液体	水漏れに注意してください。
	・ 湿ったゴミ (液体が滴るゴミ)	フィルターが詰まりやすくなります、こまめにフィルターを清掃してください。
吸えないもの 	・ 汚泥 ・ 泥水	フィルターの破損、劣化 バキュームモーターの破損の原因になります。
	・ 爆発性粉塵 ・ 引火性の物質 ・ 高温のもの ・ 発泡性のあるもの ・ 鋭利なもの	火災や機器の破損の原因になります。



注意

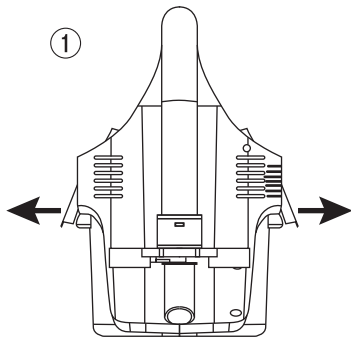
乾式のフィルターで液体を吸引することもできますが、フィルターの劣化をまねくおそれがあります。
フィルターが濡れたまま固形物を吸引すると、フィルターが破れる場合があります。
フィルターはこまめに点検してください。
破れたまま使用すると機械の故障の原因になります。

5. 乾式・ドライバキュームの使い方

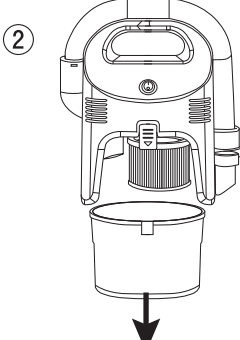


警告

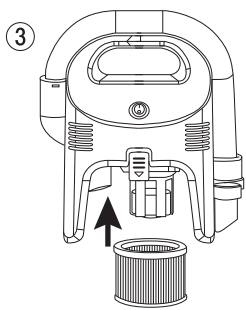
準備する際は、電源スイッチがOFFになっていることを確認し
また、電源プラグをコンセントに接続しないでください。



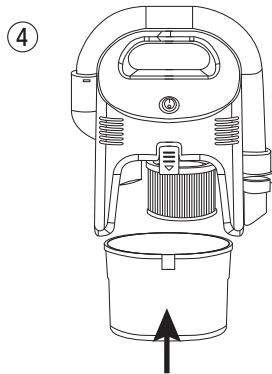
①ラッチ(機器の前後にあります)を開きます。
(P9回収タンクの取り外し参照)



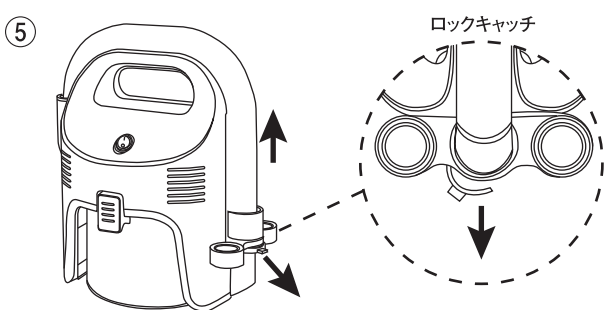
②回収タンクを取り外します。



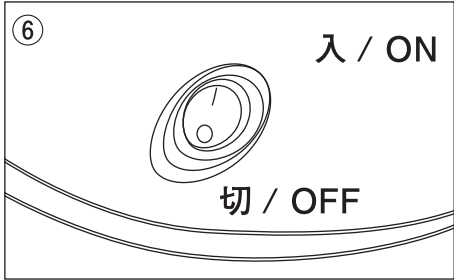
③フィルターを取り付けてください。
フロートかこの部分が完全に見えなくなるまで差し込んでください。
(P9フィルターの取り付け参照)



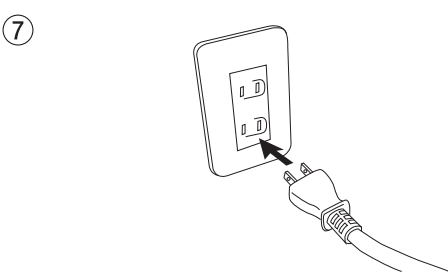
④回収タンクを取り付け
ラッチを閉めてください。
(P10回収タンクの取り付け参照)



⑤ロックキャッチを開きフレキシブルホースを、外します。フレキシブルホース吸込み口に用途に合った、延長パイプ・ノズルを取り付けます。
(P10フレキシブルホースの取り外し
P10延長パイプ・ノズルの取り付け参照)



⑥電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。
(P10電源スイッチの説明参照)



⑦コンセントに電源プラグを差し込んでから電源スイッチをONにして使用してください。



注意

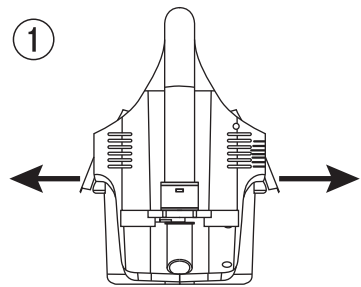
- 必ず付属のフィルターを取り付けた状態で作業してください。
- フィルターでろ過出来ない微細な粉塵は、排気口から排出されます。
- 必ず電源コンセントを差し込んでから電源スイッチを入/ONにしてください。

6. 湿式・ウェットバキュームの使い方

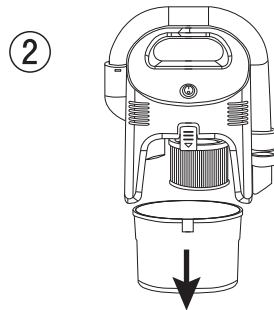


警告

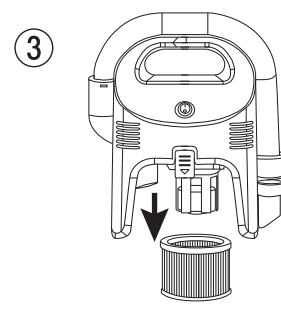
準備する際は、電源スイッチがOFFになっていることを確認し
また、電源プラグをコンセントに接続しないでください。



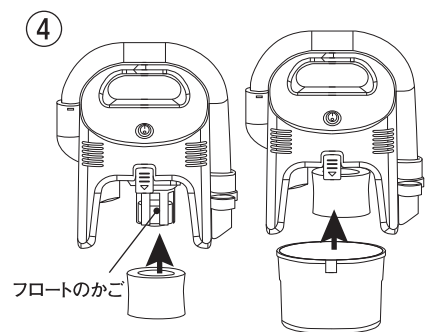
① ラッチ(機器の前後にあります)を開きます。
(P9回収タンクの取り外し参照)



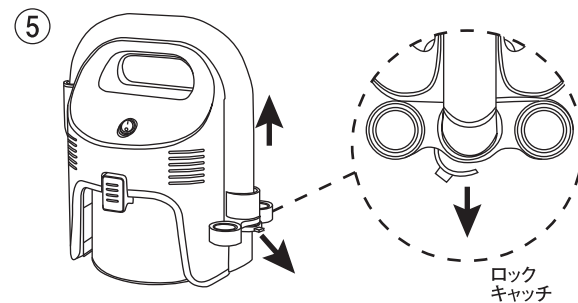
② 回収タンクを取り外します。



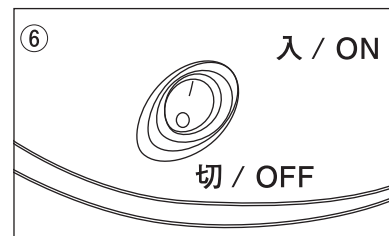
③ フィルターを取り外してください。



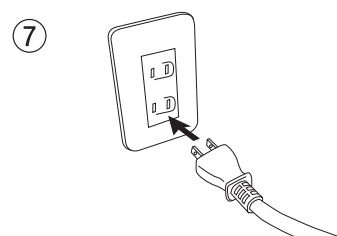
④ スポンジフィルター、回収タンクを取り付けラッチを
閉めます。
スポンジフィルターはフロートのかごの部分が安全
に見えるまで差し込みます。
(P9フィルターの取り付け
P10回収タンクの取り付け参照)



⑤ ロックキャッチを開きフレキシブルホースを、外します。
フレキシブルホース吸込み口に用途に合った、延長パイプ・ノズ
ルを取り付けます。
(P10フレキシブルホースの取り外し
P10延長パイプ・ノズルの取り付け参照)



⑥ 電源スイッチがOFFになっていることを
確認してください。
(P10電源スイッチの説明参照)



⑦ コンセントに電源プラグを差し込んでから電源スイッチをON
にして使用してください。

液体を吸引しているときに、排気口から液体が出てくる場合があります。故障ではありません。



注意

- 必ず付属のスポンジフィルターを取り付けた状態で作業してください。
- 大量の液体を吸引する場合は、ノズルと液面との間に隙間を作り空気と一緒に吸引するようにしてください。
- タンク内が液体で一杯になると、フロートが作動して吸引が弱くなります。フロートが作動すると吸引時の音が
高音に変わります。ただちにスイッチを切り、タンク内の液体を捨ててください。
- スポンジフィルターが濡れている場合、または吸引した液体がタンク内で泡になった場合、排気口から液体が
出てくる場合があります。排気口から液体が出てきたら、ただちに作業を中止してタンク内の液体を捨て、
本体が十分に乾燥するまで使用は控えてください。



警告



以下のものは絶対に吸い込まないでください。

- アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛などの爆発性粉塵。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料などの引火性の物質や油、薬品などの化学物質。
- たき火の残り火、タバコの吸い殻などの高温のものや、高速切断機、グラインダー、溶接機などから発生
する火花を含む粉。
- 薬液、洗剤、熱湯など発泡性の液体。
- カミソリの刃、釘、ガラス、針など鋭利なもの。



吸い込み口、排気口をふさいだ状態で使用しないでください。

- 感電や故障の原因となります。



本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。

- モーターの温度が加熱し、部品の熱変形やモーター焼損などの故障の原因となります。

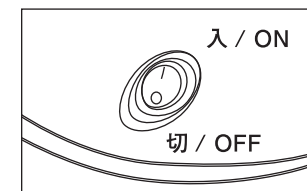


電源を入れたまま放置しないでください。

- ケガ、事故の原因になります。

温度保護機能:モーターの温度が110℃を超えると、掃除機は自動停止します。電源スイッチを切り、電源プラグを抜き機器が
冷えるまでお待ちください。使用環境によって変わりますが約40分です。

7. 作業の中断



電源スイッチを切り(OFF)電源プラグをコンセントから引き抜いてください。

8. 運転の終了と保管

電源スイッチを切り(OFF)電源プラグをコンセントから引き抜いてください。アクセサリ類・回収タンクは、水洗い出来ますので、
中性洗剤で洗い、水道水でよくすすぎ乾燥してから、片付けてください。
保管場所:直射日光が当たらない乾燥した場所に保管してください。



フィルターは、水洗いできます。ブラシなどで汚れを落としてください。汚れが気になる場合は、中性洗剤で洗い、水道水でよくす
いってください。水洗いした場合は、完全に自然乾燥してから、片付けてください。



注意

フィルターを洗うときは、漂白剤、アルコールなどを使用しないでください。フィルターの破損、変形、変色の原因に
なります。乾燥をするときは、直射日光を避け風通しのよい場所で自然乾燥をしてください。温風ヒーターなどの
使用は、破損、変形の原因になります。乾燥が不十分ですと、異臭の原因になります。

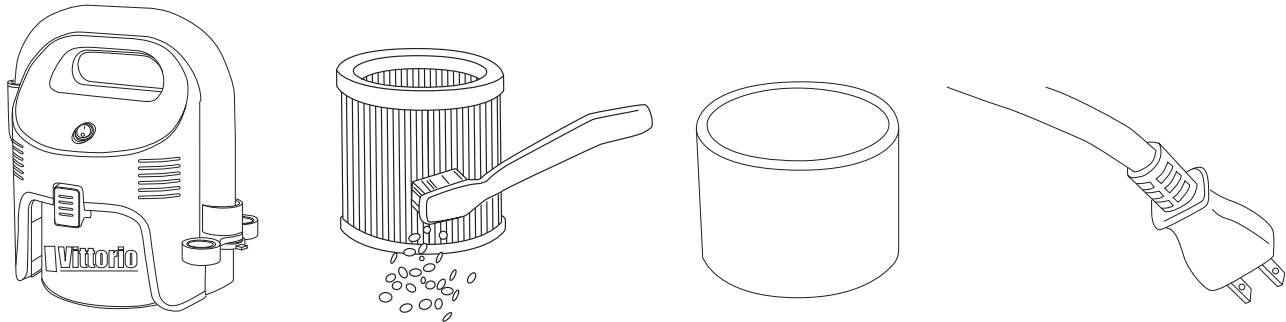
9. 日常の点検

本機を末永くご愛用頂くために、毎使用時に以下の点検を行ってください。



警告

点検やお手入れを行う場合は、必ず電源スイッチを切り(OFF)、電源プラグをコンセントから引き抜いた状態で行ってください。



外観点検:

本機全体を目視し、亀裂や変形、損傷がないか点検してください。汚れや異物が付着している場合は、よくしぼったタオルなどでふき取ってください。

フレキシブルホースを伸ばし、亀裂や損傷がないことを確認してください。

フィルターの点検:

フィルターに破れや穴があいていないか、変形がないか点検してください。

汚れなどで目詰まりがある場合は、(P14の8.運転の終了と保管参照)フィルターを水洗いをして、完全乾燥させてください。

電源コード・電源プラグの点検:

傷や変形、亀裂がみられる場合は、使用をしないでください。

10. 故障かなと思ったら

本機に異常が見られた時は、次の点をお調べください。

それでも異常がある場合にはお買い求めの販売店、もしくは蔵王産業株式会社ヴィットリオ係までご相談ください。

こんなとき	考えられる原因	その対策
電源が入らない	電源プラグがコンセントに未接続。	電源スイッチがOFFであることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	電源のスイッチが入っていない。	電源のスイッチを入れてください。
	コンセントに電気がきていない。	電気がきているコンセントを使用してください。
	電源ケーブルの損傷	修理を依頼してください。
	モーターを保護するサーマルプロテクターが作動している	電源プラグをコンセントから抜き機器が冷めるのを待ってください。
吸引しない 吸引が弱い	ノズル・ホースの詰まり	ノズル・ホースの詰まりを取り除く。
	フィルターの目詰まり	フィルターを掃除してください。
排気口からゴミが出る	フィルターの破損	フィルターの破損の有無を確認してください。
	フィルターの取付忘れ 正しく取付できていない	フィルターの取付を確認してください。
排気口から液体が出る	タンク内の泡の吸込み	タンク内の液体を捨てて、本体が乾くまで待ってください。
	フィルターが濡れている	スポンジフィルターを絞ってください。